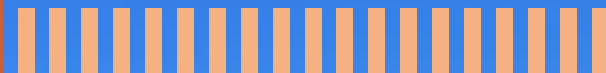


瀬戸内クルーズネットワーク構想

～島たびクルーズで瀬戸内の魅力を世界へ～



【瀬戸内クルーズ 3つの提言】

- 島めぐりを活性化 「島たびプラットフォーム」
- 地域で建造・運営 「せとうちプラチナクルーズ」
- クルーズ客を受け入れる 「にぎわいみなとまちづくり」



1. 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)

沿革 1983年4月 社団法人設立

会員 43業種222社の団体・企業・地方自治体・大学・NPO等で構成。年間延べ約1万人が国益・公益的立場で活動企画、政策提言。

会長 進藤 孝生 日本製鉄(株)代表取締役会長

副会長 宮本 洋一 (一社)日本建設業連合会 会長

今井 誠司 (株)みずほフィナンシャルグループ 取締役会長

垣内 威彦 三菱商事(株) 取締役会長

中村 英夫 東京都市大学 名誉総長

2. 「国土・未来プロジェクト研究会」活動概要

組織

| | |
|------|------------------------------|
| 最高顧問 | 中村 英夫 <JAPIC副会長> |
| 委員長 | 藤本 貴也 <パシフィックコンサルタンツ(株)特別顧問> |
| 委員 | 民・官・有識者により構成 <約50団体・約120名> |

活動概要

- ・2015年 研究会設立
- ・2017年 「提言！次世代活性化プロジェクト」発行
- ・2022年3月 国土造りプロジェクト構想 発表会・シンポジウム開催
- ・2022年10月 「JAPIC国土造りプロジェクト構想」刊行
(「提言 次世代活性化プロジェクト」増補改訂版)

3. 「国土造りプロジェクト構想」(2022/3/9シンポジウム)

□12の重点プロジェクト

<http://www.japic.org/information/240.htm>



7.神戸空港



8.四国新幹線



9.瀬戸内クルーズ



10.下関北九州道路

7.神戸空港の機能強化と
関西三空港一体運用

8.四国全県
単線新幹線と地域発展

9.瀬戸内クルーズ
ネットワーク

10.下関北九州道路



11.沖縄本島ツイン
ゲートウェイ

11.沖縄本島ツイン
ゲートウェイ

12.気候変動による
豪雨災害へ備える

活力

1.津軽海峡トンネル

2. (1)日光の交通改善
(2)鎌倉の交通改善
(3)京都の交通改善

3.外濠(市ヶ谷～飯田橋)
地区再生

4.大都市の都心辺縁部
における駅まち空間再構築

5.東海道由比地区での
強靱な国土交通軸確保

6.中川運河水辺地区再生

快適

快適

活力

安全

快適

活力



1.津軽海峡トンネル



2.鎌倉交通改善



3.東京外濠地区



4.駅まち空間



5.東海道由比地区



6.中川運河水辺地区



12.豪雨災害

目次 Contents

1. 瀬戸内地域の現状と課題
2. 海外におけるクルーズ参考事例
3. 瀬戸内の小型クルーズとは
－クルーズ推進 3つの提言－
4. 瀬戸内活性化の西日本への展開

1. 瀬戸内地域の現状と課題

瀬戸内の観光資源



出典：瀬戸内海的环境データベース
(<https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/chiki/suishitu/seto/add01.html>)



提供：PIXTA



提供：岡山県観光連盟

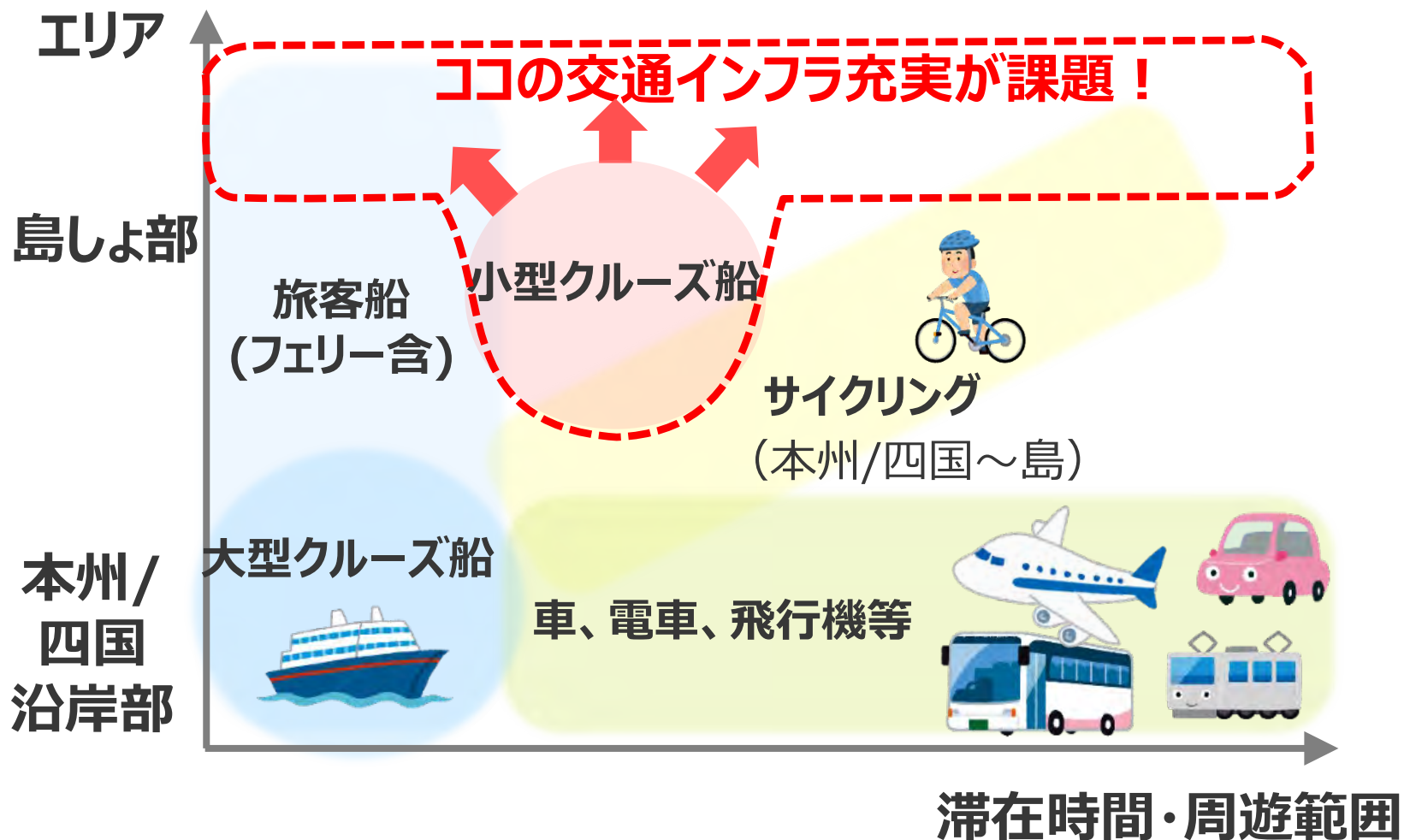


提供：広島県



提供：瀬戸内Finder
(<https://setouchifinder.com/>)

観光振興の4大要素：気候・自然・食事・文化が充実



瀬戸内の魅力である島しょ部へのアクセス性を高めるには
小型船舶が重要!

2. 海外におけるクルーズ参考事例

◆欧州 リバークルーズ

7~10日程度を主流にしたプレミアムクラスのクルーズ
移り変わる風景や旧市街の散策

◆ハロン湾クルーズ

乗客数 250万人/年

観光船（船内宿泊不可）：331隻、クルーズ船（船内泊可）：202隻



提供：Viking Cruises

欧州 リバークルーズ



提供：iStock

ベトナム ハロン湾

3. 瀬戸内の小型クルーズとは

クルーズを推進する上での障壁

- ① 既存の定期航路では多くの島をめぐることが難しい
(住民中心の航路・県境をまたがない航路)
- ② 宿泊しながら多くの島をめぐるクルーズ商品自体が不足
(島しょ部に着岸できる船上泊可能な小型船舶の不在)
- ③ 観光客の受入れ環境の不足と魅力を活かしきれないみなとまち
(着岸施設、駐車場、2次交通、船客受け入れ施設、誘致体制など)



提供 : yuko fukui

3. 瀬戸内の小型クルーズとは

クルーズ推進 - 3つの提言 -

提言 1

「島めぐり」の活性化を目指した**「島たびプラットフォーム」**

提言 2

地域でクルーズ船建造・運用**「せとうちプラチナクルーズ」**

提言 3

クルーズ客を受け入れる**「にぎわいみなとまちづくり」**

※JAPICによる分類

| 規模 クラス | 中型 クルーズ船 | 小型クルーズ船 【宿泊機能あり】 | 小型旅客船 【宿泊機能なし】 |
|------------|-----------------------------|--|---|
| ラグジュア リ | 飛鳥II、にっぽん丸 Star Legend | ガンツウ 海の七つ星プロジェクト | — |
| プレミアム | セレブリティ・ミレニウム | <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>提言 2 地域で せとうちプラチナクルーズ</p> </div> | おりんぴあどりーむせと SEA PACEO SEA SPICA (高速艇/フェリー) |
| カジュアル | フェリーさんふらわあ 「昼の瀬戸内感動クルーズ」 | | <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>提言 1 島たびプラットフォーム</p> </div> |
| 対象となる寄港地 | 中核都市港(広島・松山・高松・呉・坂出・小豆島) | 島しょ部 | 島しょ部 |

提言 3
クルーズ客を受け入れる**「にぎわいみなとまちづくり」**

- ◆ 短期間で多くの島めぐりが可能な
カジュアルクルーズを提供

ワンストップ調整支援

港湾管理者

多島クルーズ事業のマッチング・
事業化推進の機能を持つ

島たびプラットフォーム

自治体

島めぐり観光客

受け入れコンテンツ

旅行会社

島たび企画

船会社

活用可能な小型船

(予備船を含む)

人材(船員)

提言 1

想定する島たび企画イメージと効果

世界遺産・軍港と海軍カレー・みかんの香りと星空を楽しみ、瀬戸内のハワイでイルカウォッチング！4島をめぐる贅沢な2日間！



出典：NTTインフラネット株式会社

- 3県をまたぐ航路（乗り換え6回）
- 定期航路利用では2泊3日



新規航路で1泊2日に短縮！

提言 2

「せとうちプラチナクルーズ」

欧米インバウンド、国内シニア層をターゲットにした「プレミアムクラス」のクルーズ



- 船の規模：1000トン程度
- 乗客数：100～150名
- 比較的高級なビジネスホテル並みの宿泊設備

提言 2

地域資本小型クルーズ

◆ 経済効果

寄港地：3~4万円/人・日 母港：42.2万円/人・日

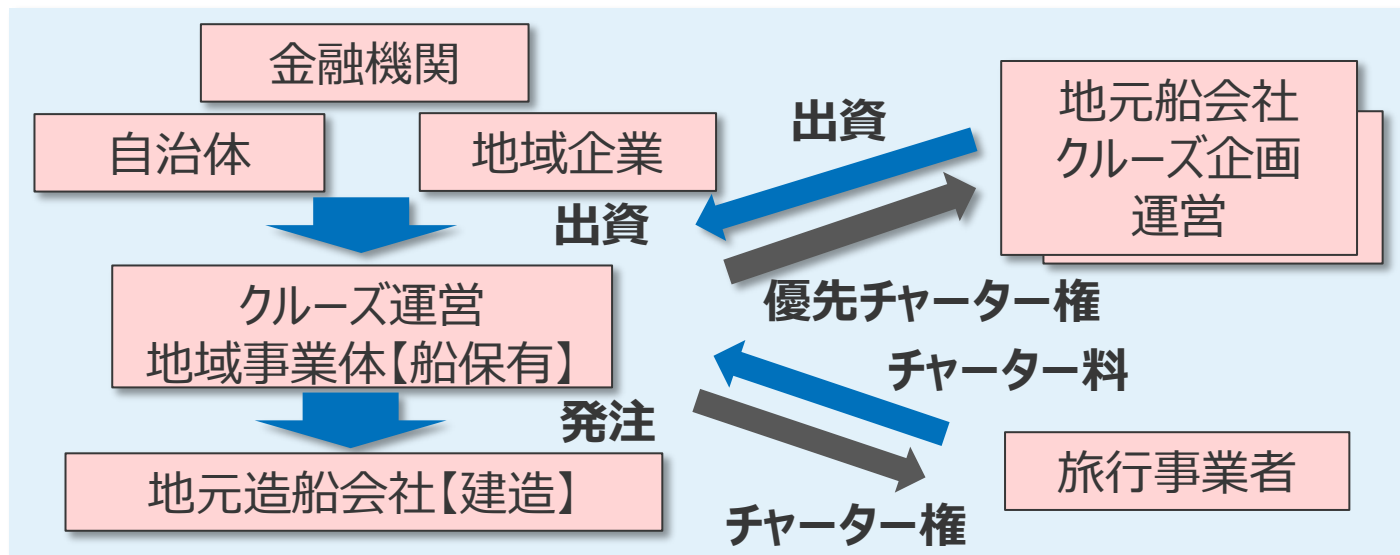
・海外&大型クルーズ寄港効果 **約46億円/年**（全寄港分実績試算）

・地域資本小型クルーズ建造&運行効果

約33億円/年・隻+建造費15億円/隻

試算条件) 1回あたりの乗船者 100人、毎週出港、寄港地は3か所

◆ 官民連携企業体&上下分離方式による事業運営



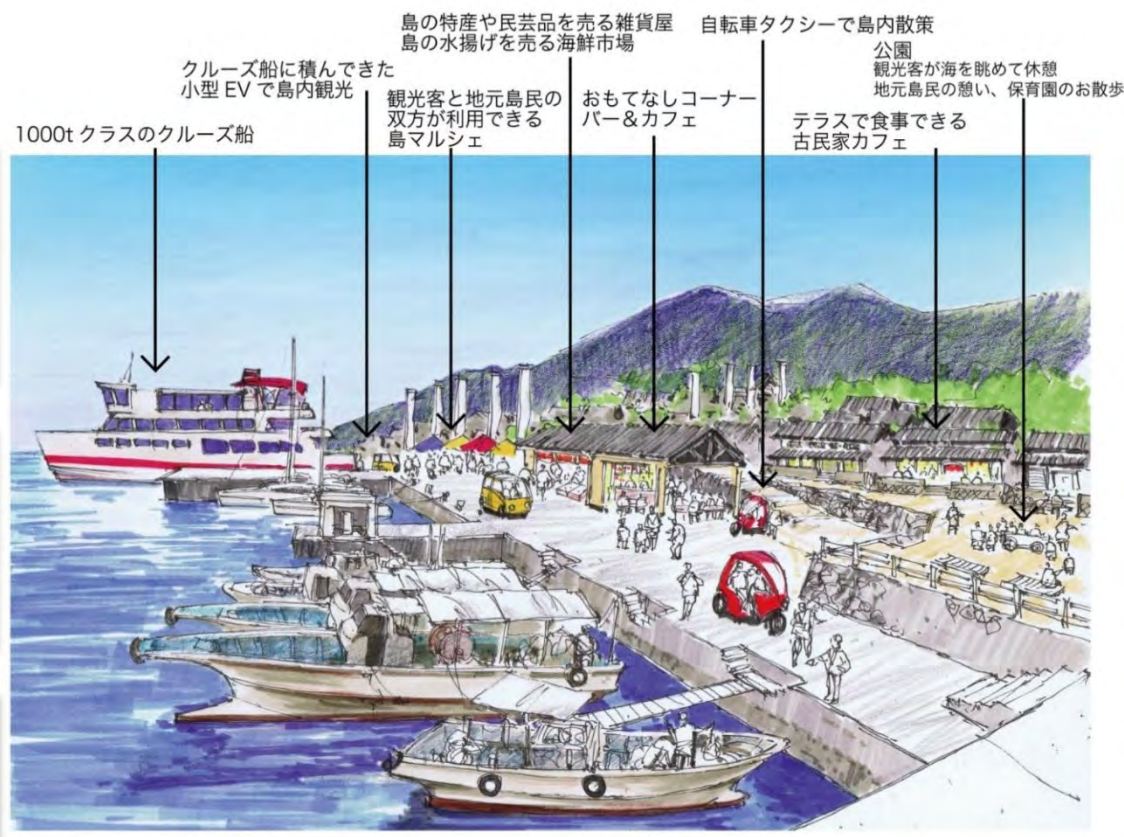
観光客と住民が共生するみなとまち

クルーズ客が
期待する
みなとまち機能

小型クルーズ
寄港を想定した
リーズナブルな
着岸施設

寄港地の情報を
お知らせする
情報提供施設

EVカーシェア、
レンタサイクルなど
2次交通拠点



住民が期待する
みなとまち機能

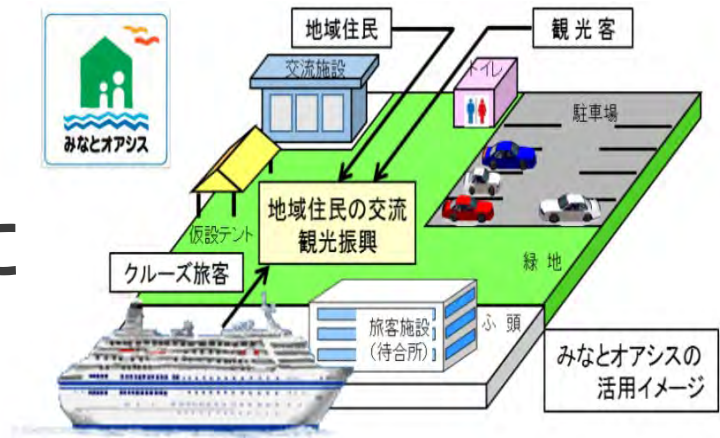
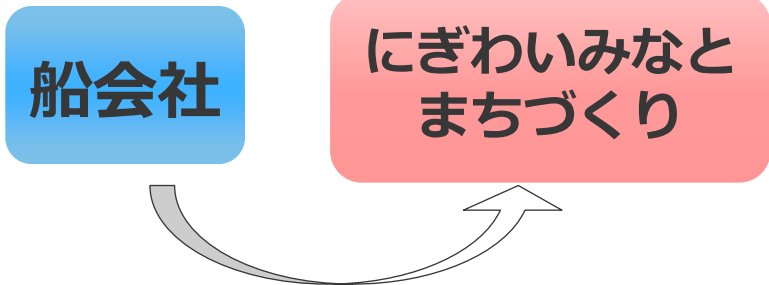
島民・観光客
双方が利用する
飲食・商業拠点

島民の日常利用が
可能な公的施設
(公民館/役場/
図書館等)

災害時に活用可
能なマルチユース
スペース (日常：公園、
寄港時：受入広場)

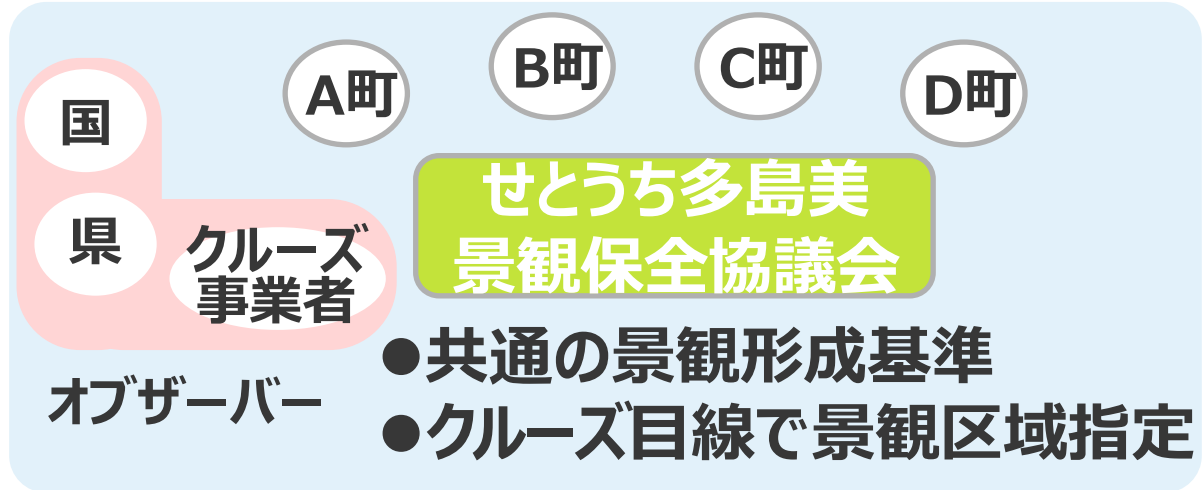
提言3 「にぎわいみなとまちづくり」を進めるしかけ

- ◆ 「みなとオアシス」の活用
- ◆ 寄港に伴う収入をみなとまちづくりに



みなとまちづくりにかかわる支援制度の一例

- ◆ せとうち多島美にふさわしい景観形成基準の策定



提供: photo AC
京都府伊根町 10

4. 瀬戸内活性化の 西日本地域への展開

瀬戸内循環交通ネットワーク形成

- ・クルーズネットワークの形成と循環交通ネットワークの相乗効果により瀬戸内・西日本が活性化
- ・3モード（高速道路・高速鉄道・クルーズ）が地域移動の多様化・円滑化を実現
- ・関西、九州圏を巻き込み観光以外の経済効果も大きく西日本の地域活性化に貢献



出典：NTTインフラネット(株)の地図に加筆